

みつけた！



六ヶ所村の魅力を発掘・発見・発信！

## やっと春がきました！

3月7日（火）の朝、4月に予定をしているふるさと歴史散歩事業の「鷹架沼南館跡ツアー」の下見に行ってきました。そこは、鷹架沼の南側の杉林の中にあります。林の中を歩いていくと、突然、リスが道路を横切り、近くには、ニホンカモシカとみられる足跡がありました。一方、郷土館の裏にある縄文広場の復元竪穴住居近くの歩道には、丸いノウサギの糞が一個、ニホンリスが食べ散らかした松ぼっくりの芯（通称：森のエビフライ）が、多数落ちていました。動物たちが動き出していることが、感じられました。



郷土館周辺の雪上には、毎日のようにウサギの足跡が見られました。雪の消えた歩道の上に、コロコロと落ちていた、ノウサギの糞。



「森のエビフライ」が散乱しています。今年は、100個は落ちているのかな？



郷土館裏の縄文広場と歩道に落ちているたくさんの「森のエビフライ」。一昨年は、約200個が落ちていました。今年は、何個かな？



二つのツメが特徴の足跡。ニホンカモシカの足跡が、森の方に向かって残っていました。

